

表1 北海道地区における小児期HBV肝炎、CV肝炎患者の受診施設

病 院 名	所在地	HBV 患者数	HCV 患者数
札幌マタニティウイメンズホスピタル	札幌市	36	2
勤医協札幌病院	札幌市	15	0
国立病院機構北海道医療センター	札幌市	2	0
KKR 札幌医療センター	札幌市	1	1
釧路赤十字病院	釧路市	4	2
JA 北海道厚生連帯広厚生病院	帯広市	1	0
製鉄記念室蘭病院	室蘭市	5	3
岩見沢市立総合病院	岩見沢市	2	0
網走厚生病院	網走市	4	0

肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)

小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠の集積等に関する研究
分担研究報告書

小児期の HBV 感染および HCV 感染に関する全国調査 (北信越地区)

研究分担者 中山佳子
信州大学医学部小児科 助教

研究要旨

全国調査の一環として北信越地区における小児期(16歳未満)のHBV感染およびHCV感染の患者数ならびに小児期に感染し30歳までに発症したHBV肝炎またはHCV肝炎関連肝細胞癌数の調査を行った。北信越地区201施設の病院小児科の内107施設(53%)から回答を得た。小児期(16歳未満)のHBV感染32例とHCV感染19例が受診していた。小児期に感染し30歳までに発症したHBV肝炎関連肝細胞癌が2例報告された。

A. 研究目的

全国調査の一環として北信越地区における小児期(16歳未満)のHBV感染およびHCV感染の患者数ならびに過去10年間に経験したHBV肝炎またはHCV肝炎関連肝細胞癌(HCC)の症例数の調査をした。

B. 研究方法

一次アンケートの質問項目は過去5年間(2010年1月~2014年11月)に経験した小児期(16歳未満)のHBV感染者あるいはHCV感染者、および過去10年間(2005年~2014年)に経験した小児期に感染し30歳までに発症したHBV肝炎またはHCV肝炎関連肝細胞癌数(HCC)の症例数であり、実施期間は平成26年11月から12月12日とした。北信越地区201施設の病院小児科を対象に一次アンケート

調査を行った。

C. 研究結果(表)

1. 北信越地区201施設の病院小児科の内107施設(53%)から回答を得た。県別では新潟27施設(52%)、富山25施設(64%)、石川20施設(54%)、福井7施設(41%)、長野28施設(50%)であった。
2. 小児期(16歳未満)のHBV感染は32例、HCV感染は19例であった。
 - (1) HBV感染
32例は全国集計の5.2%を占めた。32例の県別の内訳は新潟7例、富山10例、石川2例、福井3例、長野10例であった。
 - (2) HCV感染
19例は全国集計の5.2%を占めた。19例の県別の内訳は新潟5例、富山4例、

石川 3 例、福井 0 例、長野 7 例であった。

(3) 肝細胞癌 (HCC)

小児期に感染し 30 歳までに発症した HBV 肝炎または HCV 肝炎関連肝細胞癌数は、HBV 肝炎関連の 2 例 (長野県) (全国集計の 25%) のみであった。

D. 考察

わが国において、肝炎ウイルス感染者は約 350 万人 (B 型肝炎 110~140 万人、C 型肝炎 190~230 万人) と推定され、これらの一部は慢性肝炎、肝硬変、肝細胞癌と進行していく。B 型肝炎においては 1986 年 6 月に開始された「B 型肝炎母子感染防止事業」によって、小児期の HBs 抗原陽性率は開始から約 10 年間で 0.22% から 0.02% と 10 分の 1 以下へ激減したが、根絶には至っていない。胎内感染や予防処置失敗例による感染例が少なからず存在し、また垂直感染による感染例以外に、水平感染 (父子感染、集団保育等)、思春期の性感染症としての感染が認められている。C 型肝炎においては、1989 年 12 月から血液製剤に対して HCV 感染予防のスクリーニング検査が導入され、さらに 1999 年 10 月には HCV-RNA の検出がされるようになったことを契機に、輸血による感染は激減した。現在、HCV の感染経路の主要な感染経路は母子感染であり、HCV に感染している母親から児への感染率は約 10% と考えられている。

今回行った一次アンケート調査において、北信越地区の回答率は 53% であった。全国の回答率 (45%) を若干上回り、各県の回答率は 41% (福井県) ~64% (富山県) であった。平成 25 年 10 月 1 日時点でのわが国の 14 歳以下の人口は、16,390 千人と推計されている。北信越地区 5 県

では 967 千人であり、全国の 5.9% を占める。人口比率をもとに考えると、北信越地区の HBV 感染および HCV 感染者の全国 の患者数に占める割合 (HBV、HCV ともに 5.2%) は、回答率が全国平均の 1.17 倍であることを加味するとやや低い傾向にある可能性が示唆された。今回、回答がなされなかった施設の中には、県・地域を代表する医療施設もあり今後の課題である。また、全国的にも稀な HBV 肝炎関連肝細胞癌が 2 例報告されており、引き続き二次アンケート調査で詳細な検討が必要と考えられた。

E. 結論

今後、回答がなされなかった施設の中には、各県・地域を代表する医療機関があり、各施設個別に回答を依頼することを検討する必要があると考えられる。また更に詳細な二次アンケート調査ならびにウイルス性肝炎の自然経過や治療薬への反応性を規定するウイルス・宿主の各種遺伝子解析を行う予定である。

F. 健康危険情報

(総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- (1) 中山佳子, 草刈麻衣, 加藤沢子, 日高奈緒, 平島史穂子, 馬場淳, 小池健一, 天野芳郎, 内藤肇, 寺内昭子, 一條哲也 : C型慢性肝炎に対しペグインターフェロン・リバビリン併用療法を行った4小児例 : 第117回日本小児科学会甲信地方会 (2011/11/20 甲府)
- (2) 中山佳子, 阿部直紀, 草刈麻衣, 日高奈緒, 加藤沢子, 花村真由, 島庸介, 新美妙美, 西村貴文, 松浦宏樹, 小池健一, 金澤寛之, 福田晃也, 坂本靖介, 笠原群生, 中澤温子 : 多発性肝癌を合併したEBVによる重症肝炎後肝硬変の1例 : 第31回日本小児肝臓研究会 (2014/7/19 久留米)

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし

表1 小児期のB型及びC型肝炎ウイルスの全国調査 (北信越地区)

都道府県	施設 件数	返信 件数	回収 率%	症例別件数			
				16歳未満 HBV感染者	16歳未満 HCV感染者	30歳までに HBV感染関連 肝細胞癌	30歳までに HCV感染関連 肝細胞癌
新潟県	52	27	52%	7	5	0	0
富山県	39	25	64%	10	4	0	0
石川県	37	20	54%	2	3	0	0
福井県	17	7	41%	3	0	0	0
長野県	56	28	50%	10	7	2	0
北信越合計	201	107	53%	32	19	2	0
全国合計	2,489	1,129	45%	616	362	8	1
北信越比率	8.1%	9.5%	—	5.2%	5.2%	25.0%	0.0%

肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)

小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠の集積等に関する研究 分担研究報告書

小児期の HBV 感染および HCV 感染に関する全国調査 (群馬県)

研究分担者 羽鳥麗子
群馬大学医学部附属病院

研究要旨

全国調査の一環として群馬県における小児期の HBV 肝炎および HCV 肝炎の患者数ならびに新規発生数の調査を行った。群馬県内の 38 病院小児科の内の 21 施設 (55%) から回答を得た。小児期の HBV 肝炎 8 例と HCV 肝炎 9 例が受診していた。

A. 研究目的

全国調査の一環として、群馬県における小児期の HBV 肝炎および HCV 肝炎の患者数ならびに新規発生数の調査をした。

B. 研究方法

一次アンケートの質問項目は過去 5 年間に経験した小児期の HBV 感染者あるいは HCV 感染者、および過去 10 年間に経験した肝細胞癌 (HCC) の症例数であり、実施期間は平成 26 年 11 月から 12 月 12 日とした。群馬県内の病院小児科を対象に一次アンケート調査を行った。

C. 研究結果

群馬県内の 38 病院小児科のうち、21 施設 (55%) から回答を得た。3 病院で小児期 (16 歳未満) の HBV 感染症例 8 例、また、2 病院で HCV 感染症例 9 例の診療を行っていた。30 歳未満の HBV 感染関連肝細胞癌症例あるいは HCV 感染関連肝細胞

癌症例は存在しなかった。

D. 考察

群馬県内の病院小児科で診療を受けている小児期の HBV 感染者あるいは HCV 感染者はほぼ同数であり、その大部分の症例が 1 病院に集約されていた。また、肝細胞癌症例は存在しなかった。

E. 結論

今後、対象患者に対して更に詳細な二次アンケート調査ならびにウイルス性肝炎の自然経過や治療薬への反応性を規定するウイルス・宿主の各種遺伝子解析を行う予定である。

F. 健康危険情報

(総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
田尻 仁	細菌性胃腸炎	日本小児栄養消 化器肝臓学会	小児栄養消化器 肝臓病学	診断と治療社	東京	2014	244-247
友政剛、乾あやの	B 型肝炎ワクチンの効果と 接種対象	五十嵐隆	予防接種	中山書店		2014	130-135

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Negoro A, Takano T, Tajiri H, Nezu R, Kawamura N, Brooks S.	A role of colectomy in immune thrombocytopenic purpura associated with ulcerative colitis: a case report and a review of the literature.	Int J Colorectal Dis.	29	1179-80	2014
Kato T, Nishida T, Ito Y, Murase M, Murata M, Naoe T	Correlations of programmed death 1 expression and serum IL-6 level with exhaustion of cytomegalovirus-specific T cells after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Cell Immunol	288	53-59	2014
Hara S, Kawada J, Kawano Y, Yamashita T, Minagawa H, Okumura N, Ito Y	Hyperferritinemia in Neonatal and Infantile Human Parechovirus-3 Infection in Comparison with Other Infectious Diseases.	J Infect Chemothe	20	15-19	2014
Yamashita Y, Ito Y, Isomura H, Takemura N, Okamoto A, Motomura K, Tsujiuchi T, Natsume A, Wakabayashi T, Toyokuni S, Tsurumi T	Lack of presence of the human cytomegalovirus in human glioblastoma.	Modern Pathol	27	922-992	2014

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kawano Y, Kawada J, Ito Y	Epstein-Barr Virus MicroRNAs in Plasma as Potential Biomarkers for Chronic Infections.	J Infect Dis	209	1298-1300	2014
Kanazawa T, Hiramatsu Y, Iwata S, Siddiquey M, Sato Y, Suzuki M, Ito Y, Goshima F, Murata T, Kimura H	Anti-CCR4 Monoclonal Antibody Mogamulizumab for the Treatment of EBV-Associated T- and NK-Cell Lymphoproliferative Diseases.	Clin Cancer Res	20	5057-5084	2014
Shimada N, Tsubota A, Atsukawa M, Abe H, Ika M, Kato K, Sato Y, Kondo C, Sakamoto C, Tanaka Y, Aizawa Y	α -Fetoprotein is a surrogate marker for predicting treatment failure in telaprevir-based triple combination therapy for genotype 1b chronic hepatitis C Japanese patients with the IL28B minor genotype.	J Med Virol.	86	461-72	2014
Matsuura K, Tanaka Y, Watanabe T, Fujiwara K, Orito E, Kurosaki M, Izumi N, Sakamoto N, Enomoto N, Yatsuhashi H, Kusakabe A, Shinkai N, Nojiri S, Joh T, Mizokami M	ITPA genetic variants influence efficacy of PEG-IFN/RBV therapy in older patients infected with HCV genotype 1 and favourable IL28B type.	J Viral Hepat.	21	466-74	2014
Tajiri H, Tanaka Y, Takano T, Suzuki M, Abukawa D, Miyoshi Y, Shimizu T, Brooks S	Association of IL28B polymorphisms with virological response to peginterferon and ribavirin therapy in children and adolescents with chronic hepatitis C.	Hepatol Res.	44	E38-E44	2014
Ito K, Yotsuyanagi H, Yatsuhashi H, Karino Y, Takikawa Y, Saito T, Arase Y, Imazeki F, Kurosaki M, Umemura T, Ichida T, Toyoda H, Yoneda M, Mita E, Yamamoto K, Michitaka K, Maeshiro T, Tanuma J, Tanaka Y, Sugiyama M, Murata K, Masaki N, Mizokami M; Japanese AHB Study Group	Risk factors for long-term persistence of serum hepatitis B surface antigen following acute hepatitis B virus infection in Japanese adults.	Hepatology	59	89-97	2014

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yamada N, Shigefuku R, Sugiyama R, Kobayashi M, Ikeda H, Takahashi H, Okuse C, Suzuki M, Itoh F, Yotsuyanagi H, Yasuda K, Moriya K, Koike K, Wakita T, Kato T	Acute hepatitis B of genotype H resulting in persistent infection.	World J Gastroenterol	20	3044-49	2014
Mukaide M, Sugiyama M, Korenaga M, Murata K, Kanto T, Masaki N, Mizokami M	High-throughput and sensitive next-generation droplet digital PCR assay for the quantitation of the hepatitis C virus mutation at core amino acid 70.	J Virol Methods	207	169-77	2014
Masaki N, Sugiyama M, Shimada N, Tanaka Y, Nakamuta M, Izumi N, Watanabe S, Tsubota A, Komatsu M, Masaki T, Enomoto N, Yoneda M, Murata K, Ito K, Koike K, Mizokami M	Pretreatment prediction of the outcome of response-guided peginterferon- α and ribavirin therapy for chronic hepatitis C.	J Gastroenterol Hepatol	29	1996-2005	2014
Nishino J, Sugiyama M, Nishida N, Tokunaga K, Mizokami M, Mano S	The interaction of a single-nucleotide polymorphism with age on response to interferon- α and ribavirin therapy in female patients with hepatitis C infection.	J Med Virol	86	1130-3	2014
Khudayberganova D, Sugiyama M, Masaki N, Nishida N, Mukaide M, Sekler D, Latipov R, Nataliya K, Dildora S, Sharapov S, Usmanova G, Raxmanov M, Musabaev E, Mizokami M	IL28B polymorphisms and clinical implications for hepatitis C virus infection in Uzbekistan.	PLoS One	9	e93011	2014
Xeuatvongsa A, Komada K, Kitamura T, Vongphrachanh P, Pathammavong C, Phounphenghak K, Sisouk T, Phonekeo D, Sengkeopaseuth B, Som-Oulay V, Ishii K, Wakita T, Sugiyama M, Hachiya M	Chronic hepatitis B prevalence among children and mothers: results from a nationwide, population-based survey in Lao People's Democratic Republic.	PLoS One	9	e88829	2014

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ito K, Yotsuyanagi H, Yatsunami H, Karino Y, Takikawa Y, Saito T, Arase Y, Imazeki F, Kurosaki M, Umemura T, Ichida T, Toyoda H, Yoneda M, Mita E, Yamamoto K, Michitaka K, Maeshiro T, Tanuma J, Tanaka Y, Sugiyama M, Murata K, Masaki N, Mizokami M	Japanese AHB Study Group. Risk factors for long-term persistence of serum hepatitis B surface antigen following acute hepatitis B virus infection in Japanese adults.	Hepatology	59	89-97	2014
Nishida N, Sawai H, Kashiwase K, Minami M, Sugiyama M, Seto WK, Yuen MF, Posuwan N, Poovorawan Y, Ahn SH, Han KH, Matsuura K, Tanaka Y, Kurosaki M, Asahina Y, Izumi N, Kang JH, Hige S, Ide T, Yamamoto K, Sakaida I, Murawaki Y, Itoh Y, Tamori A, Orito E, Hiasa Y, Honda M, Kaneko S, Mita E, Suzuki K, Hino K, Tanaka E, Mochida S, Watanabe M, Eguchi Y, Masaki N, Murata K, Korenaga M, Mawatari Y, Ohashi J, Kawashima M, Tokunaga K, Mizokami M	New susceptibility and resistance HLA-DP alleles to HBV-related diseases identified by a trans-ethnic association study in Asia.	PLoS One	9	e86449	2014
Tomoyuki Tsunoda, Ayano Inui, Manari Kawamoto, Tsuyoshi Sogo, Haruki Komatsu, Tomoo Fujisawa	Effects of pegylated interferon- α -2a monotherapy on growth in Japanese children with chronic hepatitis C	Hepato Res	44	251-258	2014
Komatsu H, Murakami J, Inui A, Tsunoda T, Sogo T, Fujisawa T	Association between single-nucleotide polymorphisms and early spontaneous hepatitis B virus e antigen seroconversion in children.	BMC Res Notes.	7	789	2014
Komatsu H	Hepatitis B virus: where do we stand and what is the next step for eradication?	World J Gastroenterol	20	8998-9016	2014

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Iwasawa K, Inui A, Tsunoda T, Kondo T, Kawamoto M, Sogo T, Komatsu H, Fujisawa T	Hepatitis B (HB) immunoglobulin plus HB vaccine for intrauterine HB virus infection.	Pediatr Int		In press	2014
Komatsu H, Inui A, Sogo T, Tsunoda T, Fujisawa T	Chronic Hepatitis B Virus Infection in Children and Adolescents in Japan.	J Pediatr Gastroenterol Nutr	60	99-104	2015
Komatsu H, Inui A, Fujisawa T, Takano T, Tajiri H, Murakami J, Suzuki M	Transmission route and genotype of chronic hepatitis B virus infection in children in Japan between 1976 and 2010: A retrospective, multicenter study.	Hepatol Res		In press	2014
Suzuki M, Saito N, Naritaka N, Nakano S, Minowa K, Honda Y, Ohtsuka Y, Yamataka A, Shimizu T	Scoring system for the prediction of severe acute pancreatitis in children	Pediatr Int	57	113-118	2015
Suzuki M, Sai JK, Shimizu T	Acute pancreatitis in children and adolescents	World J Gastrointest Pathophysiol	5	416-26	2014
Takano T, Tajiri H, Etani Y, Miyoshi Y, Tanaka Y, Brooks S	Natural history of chronic hepatitis B virus infection in childhood and efficacy of interferon therapy.	Scandinavian Journal of Gastroenterology		In press	2015
Ueda H, Tajiri H, Kimura S, Etani Y, Hosoi G, Maruyama T, Noma H, Kusumoto Y, Takano T, Baba Y, Nagai T.	Clinical characteristics of seizures associated with viral gastroenteritis in children	Epilepsy Research	109	146-154	2015

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
高野智子, 乾あやの, 牛島高介, 三善陽子, 虻川大樹, 宮川隆之, 藤澤知雄, 田尻 仁	30歳までに肝細胞がんを発症した小児期 B 型肝炎ウイルス感染者に関する臨床的検討	肝臓	56	18-20	2015
高野 智子, 田尻 仁	【小児の治療指針】 感染症 ロタウイルス感染症、ノロウイルス感染症	小児科診療	77	177-179	2014
小川加奈, 最上友紀子, 利川寛実, 木水友一, 木村貞美, 池田妙, 柳原恵子, 田尻仁, 鈴木保宏	視床下部過誤腫の 6 症例の検討 頭部 MRI 所見と臨床症状	脳と発達	46	419-423	2014
田中 英夫	日本国内の B 型および C 型肝炎ウイルス感染者数は？—献血者スクリーニングデータを補正して	JACR Monograph	20	29-38	2014
田中 英夫	エビデンスに基づく日本の肝がん予防対策への提言 2014 年	JACR Monograph	20	79-88	2014
田中英夫, 細野覚代, 伊藤秀美	C 型肝炎からの肝癌発生 わが国の肝癌発生の現状と見通し	C 型肝炎のすべて. 臨床消化器内科 6 月増刊号.	29	203-207	2014
藤澤知雄, 乾あやの	B 型肝炎の今日的問題点—ユニバーサル B 型肝炎ワクチンの重要性—	感染症	44	121-127	2014
乾あやの, 角田知之, 小松陽樹, 藤澤知雄	小児 C 型慢性肝炎診療の現状	臨床消化器内科	29	864-869	2014
乾あやの, 小松陽樹, 藤澤知雄	B 型肝炎	感染症内科	2	299-307	2014
角田知之, 十河剛, 乾あやの, 藤澤知雄	B 型肝炎	小児科診療	77	632-640	2014
藤澤知雄	B 型肝炎ウイルス感染症 (母子・家族内感染を含む)—B 型肝炎ワクチンの定期接種化に向けて—	日本医師会雑誌	143	S253-255	2014
岩澤堅太郎, 十河剛	小児のユニバーサル B 型肝炎ワクチン接種の重要性	周産期医学	4	1347-1351	2014
乾あやの, 藤澤知雄, 小松陽樹	なぜ, すべての子どもに. B 型肝炎ワクチンが必要なのか?—世界から見た日本—	臨床とウイルス	42	166-173	2014

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
藤澤知雄	なぜ B 型肝炎ワクチンが定期接種になるのか	チャイルドヘルス 診断と治療社	17	25-28	2014
乾あやの	B 型肝炎ワクチンを 1 歳未満で接種するメリットはありますか？	ワクチンジャーナル メディカルレビュー社	6	36	2014
村上 潤、倉信奈緒美、岡本 賢、長田郁夫	C 型肝炎	小児内科	46	631-637	2014
村上 潤、倉信奈緒美、岡本 賢、長田郁夫	C 型肝炎母子感染予防	周産期医学	44	1353-1356	2014
田尻仁、藤澤知雄、工藤豊一郎、長田郁夫、牛島高介、乾あやの、高野智子、村上潤、恵谷ゆり	小児 B 型肝炎の診療指針 (改定案)	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌	28	96-109	2014
中野聡, 鈴木光幸, 清水俊明	胎児・新生児の肝・胆道疾患	周産期医学	44	1273-77	2014

IV. 学会等発表実績

学 会 等 発 表 実 績

肝炎等克服緊急対策 研究事業

委託業務題目「小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠の集積等に関する研究」

機関名 大阪府立急性期・総合医療センター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Effects of pegylated interferon α2a monotherapy on growth in Japanese children with chronic hepatitis C. (poster)	T Tsunoda, A Inui, M Kawamoto, T Sogo, H Komatsu, T Fujisawa	Asian Pacific Association for the Study of the Liver.	2014.3.12-15	国外
Chronic hepatitis B virus infection in children and adolescents: a single center study for 30 years. (poster)	A Inui, H Komatsu, T Tsunoda, K Iwasawa, M Kawamoto, T Sogo, T Fujisawa	Asian Pacific Association for the Study of the Liver.	2014.3.12-15	国外
Hepatitis B(HB) vaccine therapy for children with prenatal HB virus infection. (poster)	K Iwasawa, A Inui, T Tsunoda, T Kondo, M Kawamoto, T Sogo, H Komatsu, T Fujisawa	Asian Pacific Association for the Study of the Liver.	2014.3.12-15	国外
HCV母子感染の実態と課題(シンポジウム7 ウイルス母子感染症の現状と対策)(口頭発表)	田尻 仁	第117回小児科学会学術集会	2014.4.11-13	国内
小児B型慢性肝炎に対するラミブジン短期併用インターフェロン療法の有効性(口頭発表)	田尻 仁, 高野 智子	第117回小児科学会学術集会	2014.4.11-13	国内
小児B型慢性肝炎の全国多施設調査よりインターフェロン治療に関する検討(口頭発表)	高野 智子, 田尻 仁, 乾 あやの, 三善 陽子, 牛島 高介, 村上 潤, 鈴木 光幸, 虻川 大樹, 木村 宏, 恵谷 ゆり	第117回小児科学会学術集会	2014.4.11-13	国内
なぜ、すべての子どもたちにB型肝炎ウイルスワクチンが必要なのか？—世界からみた日本—(口頭発表)	乾あやの	第117回小児科学会学術集会	2014.4.11-13	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
新生児仮死に合併する胆汁うっ滞症の臨床的検討(口頭発表)	村野弥生, 鈴木光幸, 箕輪圭, 西崎直人, 菅沼広樹, 久田研, 東海林宏道, 寒竹正人, 大日方薫, 清水俊明	第117回小児科学会学術集会	2014.4.11-13	国内
髄膜炎症状と咽後膿瘍を合併した頭蓋底硬膜外膿瘍の1例(口頭発表)	岡田 洋介, 高野 智子, 中西 達郎, 宮田 京, 根来 彩子, 野間 治義, 小川 加奈, 西浦 博史, 楠本 義雄, 田尻 仁	第117回小児科学会学術集会	2014.4.11-13	国内
HBV母子感染全国調査（シンポジウム ウイルス母子肝炎の現状と対策）(口頭発表)	藤井洋輔	第117回小児科学会学術集会	2014.4.11-13	国内
単純ヘルペスウイルスによる母子感染(口頭発表)	伊藤嘉規	第117回小児科学会学術集会	2014.4.11-13	国内
A novel genetic maker to improve the prediction of HCV spontaneous clearance: Polymorphisms consisting of (TA) _n dinucleotide repeat near IL28B gene. (poster)	M Sugiyama, A Ido, H Tsubouchi, H Watanabe, Y Ueno, K Murata, M Korenaga, and M	The International Liver Congress 2014;49th Annual Meeting of EASL.	2014.4.13	国外
Sustained Efficacy of Interferon Three in Children With Chronic Hepatitis B. (poster)	Tajiri H, Takano T, Etani Y, Miyoshi Y, Miyahara Y	Pediatric Academic Societies and Society For Pediatric Research.	2014.5.7	国外
A Multi-Center Study on Efficacy of Three Treatment Regimens of Japanese Children and Adolescents with Chronic Hepatitis C.(poster)	Takano T, Tajiri H, Etani Y, Miyoshi Y, Miyahara Y	Pediatric Academic Societies and Society For Pediatric Research.	2014.5.7	国外
鶏卵経口負荷試験の消化器症状に関する検討(口頭発表)	高野 智子, 釣永 雄希, 高岡 有理, 矢島 裕子, 亀田 誠, 田尻 仁	第26回日本アレルギー学会春季臨床大会	2014.5.9	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
HBs抗原消失を目標とした核酸アナログ間欠投与の可能性に関する検討(口頭発表)	山田 典栄, 小林 稔, 安田 清美, 奥瀬 千晃, 四柳 宏, 鈴木 通博	第50回日本肝臓学会総会	2014.5.29-30	国内
小児B型慢性肝炎に対するインターフェロン療法難治例の臨床的背景(口頭発表)	村上 潤, 倉信 奈緒美, 岡本 賢, 長田 郁夫, 梶 俊策, 飯塚 俊之, 白木 和夫, 孝田 雅彦, 田中 靖人, 田尻 仁	第50回日本肝臓学会総会	2014.5.29-30	国内
小児B型慢性肝炎の長期予後からみた治療法—単一施設30年の検討—(口頭発表)	乾 あやの, 小松 陽樹, 角田 知之, 岩澤 堅太郎, 川本 愛里, 十河 剛, 藤澤 知雄	第50回日本肝臓学会総会	2014.5.29-30	国内
宿主因子を標的とした新規抗B型肝炎ウイルス製剤の開発と作用機序の解析(シンポジウム)(口頭発表)	杉山 真也, 田中 靖人, 溝上 雅史	第50回日本肝臓学会総会	2014.5.29-30	国内
治療困難例に対する抗ウイルス療法(透析、HIV合併、肝移植後、小児例を含めて)HBV母子感染ハイリスク妊婦へのラミブジン投与(口頭発表)	杉浦 時雄, 遠藤 剛, 伊藤 孝一, 高野 智子, 田尻 仁, 田中 靖人	第50回日本肝臓学会総会	2014.5.29-30	国内
C型肝炎に対するDAAを用いた治療戦略 C型肝炎に対するテラプレビル/PEG-IFNα2b/リバビリン3剤併用療法の有効性(口頭発表)	建石 良介, 四柳 宏, 小池 和彦	第50回日本肝臓学会総会	2014.5.29-30	国内
全国多施設調査より小児期B型肝炎キャリアオーバー120例の検討(口頭発表)	高野 智子, 田尻 仁	第50回日本肝臓学会総会	2014.5.29-30	国内
グループ罹患後に気管切開となった先天性蛋白漏出性腸症の一例(口頭発表)	宮田 京, 丸山 朋子, 中西 達郎, 西浦 博史, 楠本 義雄, 高野 智子, 田尻 仁	第28回日本小児救急医学会	2014.6.6-7	国内
高血糖を契機に診断された絞扼性イレウスの1例(口頭発表)	中西 達郎, 西浦 博史, 野口 侑記, 田尻 仁	第28回日本小児救急医学会	2014.6.6-7	国内
小児B型肝炎の長期予後(口頭発表)	乾 あやの, 小松 陽樹	第55回日本臨床ウイルス学会	2014.6.14-15	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
B型肝炎ウイルス感染の制圧に向けて(口頭発表)	藤澤 知雄	第55回日本臨床ウイルス学会	2014.6.14-15	国内
国際標準物質を用いた Epstein-Barrウイルス・サイトメガロウイルス定量 PCR系の標準化(口頭発表)	伊藤 嘉規,河野好彦,鳥居 ゆか,安藤 将太郎,神谷 泰子,鈴木 道雄,川田潤一,木村 宏	第88回日本感染症学会学術講演会	2014.6.18-20	国内
若年性ポリープに対して内視鏡的ポリープ切除を行った8例の検討(口頭発表)	石垣 俊,高野智子,西浦 博史,田尻 仁	第 41 回日本小児内視鏡研究会	2014.7.5	国内
小児C型肝炎の自然経過とインターフェロン治療効果に関する多施設共同研究の中間報告(口頭発表)	高野 智子,田尻仁,三善 陽子,鈴木 光幸,木村 宏,村上 潤,田中 靖人,牛島 高介,森島恒雄,要藤 裕孝,虻川 大樹,恵谷 ゆり	第31回日本小児肝臓研究会	2014.7.13-14	国内
小児B型慢性肝炎に発症した肝細胞癌12例の検討 ～小児期のウイルス性肝炎に対する治療法の標準化に関する研究班による全国多施設調査～(口頭発表)	高野 智子,乾あやの,牛島 高介,三善 陽子,虻川 大樹,宮川隆之,藤澤 知雄,田尻 仁	第31回日本小児肝臓研究会	2014.7.19	国内
多発性肝癌を合併したEBVによる重症肝炎後肝硬変の1例(口頭発表)	中山佳子,阿部直紀,草刈麻衣,日高奈緒,加藤沢子,花村真由,島庸介,新美妙美,西村貴文,松浦宏樹,小池健一,金澤寛之,福田晃也,坂本靖介,笠原群生,中澤温子	第31回日本小児肝臓研究会	2014.7.19	国内
Metabolome me analysis reveals involvement of the tryptophan-kynurenine pathway in herpervirus 6 encephalopathy. (poster)	Y Ito, Y Kawano, Y Torii, H Sato, K Sasaki, T Fujimori	International Herpesvirus Worksop.	2014.7.19-23	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Clinical Significance of Host Factors in Viral Hepatitis. (poster)	M Mizokami, N Nishida, and M Sugiyama	The 2nd International Symposium of Catholic University Liver Research Center Symposium.	2014.7.26	国外
B型肝炎ワクチン—なぜ今、すべての子どもに接種が必要なのか？—(口頭発表)	乾 あやの	第24回日本外来小児科学会年次集会	2014.8.30.-31	国内
Association of sphingolipid biosynthesis pathway as a novel therapeutic target for HBV replication.(poster)	M Sugiyama, Y Tanaka, M Nakanishi, M Sudoh, and M Mizokami	International Meeting on Molecular Biology of Hepatitis B Viruses.	2014.9.4	国外
小児肝疾患における肝生検の適応について(シンポジウム2 小児における肝生検と肝臓病理)(口頭発表)	田尻 仁	第41回日本小児栄養消化器肝臓学会	2014.10.10-12	国内
特発性血小板減少症を合併したステロイド依存性の潰瘍性大腸炎の1例(口頭発表)	高野 智子, 根来 彩子, 田尻 仁, 廣田 昌紀, 根津 理一郎	第41回日本小児栄養消化器肝臓学会	2014.10.10-12	国内
好酸球性胃腸炎を発症した11歳女児の1例(口頭発表)	根来 彩子, 高野 智子, 西浦 博史, 田尻 仁	第41回日本小児栄養消化器肝臓学会	2014.10.10-12	国内
クロストリジウム・ディフィシル(CD)腸炎についての臨床的検討(口頭発表)	高野 智子, 根来 彩子, 林 賢, 小川 加奈, 田尻 仁	第41回日本小児栄養消化器肝臓学会	2014.10.10-12	国内
小児期B型肝炎感染者の臨床的検討 母子感染と水平感染の比較(口頭発表)	田尻 仁, 高野 智子, 乾 あやの, 村上 潤, 牛島 高介, 鈴木 光幸, 三善 陽子, 虻川 大樹, 藤澤 知雄	第41回日本小児栄養消化器肝臓学会	2014.10.10-12	国内
高ウイルス量妊婦へのラミブジン投与によるB型肝炎ウイルス母子感染予防(口頭発表)	杉浦 時雄, 遠藤 剛, 伊藤 孝一, 齋藤 伸治, 田中 靖人, 鈴木 伸宏, 高野 智子, 田尻 仁	第41回日本小児栄養消化器肝臓学会	2014.10.10-12	国内